

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 7 年 3 月 24 日

札幌市立 手稲東小学校

1 今年度の重点目標

・授業づくり～課題探求型の学習の成立
 ・集団づくり～学校だから育つ「かかわる力」

2 本年度の経営方針

○A(挨拶)K(感謝)E(笑顔)の花あふれる学校
 ○みんなが、みんなを 大切に作る学校

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	A(あいさつ) K(感謝) E(笑顔)	AKEを目指した取組、協働、子どもの姿	A	保護者・教職員両アンケートにおいて好意的な回答が80%を超えている。学校、家庭で目指す子どもの姿として捉えていると言える。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		学校としては、AKEが学校文化として根付き、地域や保護者にも浸透している。先生方のご努力を改めて感じることができた。普段子どもたちと接する機会が少なく、我々(地域)としてどのような形で見守っていけばよいかと思っていたが、学校で取り組んでいるAKEの中に大切にすべきことがあると感じた。				

人間尊重の教育	「一人一人が大切にされている」と実感できる学校づくり	○学習活動づくり、環境づくり、人間関係づくり	A	保護者・教職員アンケートともに80%を超えている。子ども一人一人のよさを見取り、安心して学校生活ができるよう協働してきた。今後も学級内でうまく人間関係を作ることができない児童へ、学校・家庭と協働し適切な支援を行う。	A	A
「学ぶ力」の育成	「学ぶ力」育成プログラムの実施	○わかる、できる、楽しい授業づくりに向けて ・AARサイクル ・ICT活用	B	職員評価は80%を超えたが、保護者アンケートでは80%をきった。今年度の反省を生かし「わかる・できる・楽しい」授業作りを目指し、授業研究、学級づくりの研修を続ける。また、家庭学習や読書など達成の低い項目については家庭と連携し継続した協働が必要である。	A	A
「豊かな心」の育成	「AKE」指導の充実	・A(挨拶)の指導と深化 ・命、人権尊重の指導 ・いじめの未然防止	B	職員評価は90%を超えたが、保護者アンケートは90%に達していない。学校では、児童が「あいさつ運動」のキャラを作ったことで「あいさつ運動」が活性化した。今後は、校外でも意識するよう指導していく。命やいじめについては、児童による自治的な活動として広げていく。	A	A
「健やかな体」の育成	「健やかな体」育成プログラムの実施	○A(あせ) K(こつ) E(笑顔) ・運動に親しむ環境づくり ・自治的な活動(委員会) ・食、性に関する指導	B	職員・保護者とも達成が70~80%と高いとは言えない。体力テストから持久力の低下が分かる。体育の運動量を確保する授業改善、中・昼休みの運動に親しむ環境づくりを進める。また、子どもの自治的な活動として委員会発信による「楽しく運動する」ことを続ける。	A	A
一貫性・連続性のある教育(小中一貫した教育)	ランドデザインを基調とした育てたい子ども像	・子ども像の共有と、学びの連続性 ・礼教研を基にしたパートナー校連携	A	学校運営協議会を設置し、育てたい子ども像を共有し、地域・学校と連携して取り組む。また、手稲東中学校のパートナー校間で、ランドデザインをもとにした子ども像を目指し、教職員間でより交流を深め互いの授業力向上を目指す。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		中学校になると、学年だけでなく、学級としての取り組みも大事になってくる。小学校までの育ちを落とすことなく、さらに引き上げていけるよう、今後も連携を進めていきたい。運動会について、持久力の低下の話もあったが、目標を持ってできること、応援し合いながら成長し合えることを考えると運動会を従来の形に戻していく方向で考えていただきたい。コロナ以前に戻りつつあるのかと感じている。学校行事等、少しずつでも、ニーズに沿った形で持っていけたらと思う。手稲東は「らぼーる」という素晴らしい図書館があるので、より一層本に親しむための工夫ができるのではと感じている。				

学校独自に設定する分野	教育課程の充実	A	「本物の体験」から得られる学びは大きい。各学年で現地学習やゲストティーチャーによる学習など多くの学びがあった。	A	A
	働き方改革	B	ICTの校務活用から印刷業務の軽減が図られている。時差出勤を積極的に取得し働き方改革が進められている。一方、業務の偏りがまだ見られ、退勤時刻に差がある。次年度は、電話対応を17:30とする。	A	A

学校関係者評価委員会による意見
 先生方の努力で東小の学力も上がっていると聞いている。感謝と敬意を申し上げる。ゲストティーチャーを招いた学習など、「本物の体験」を意識した取り組みが素晴らしい。地域への発信として、バス停前のお便りを拝読している。特に、給食便りが素晴らしい。働き方改革を推進してほしい。夜、遅くまで職員室の明かりがある。退勤時刻には差があると感じる。